

令和5年度

事業報告及び決算書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人いばらき文化振興財団

目 次

I 事業報告	1 ~ 24
II 決算報告書	25 ~ 37

I 事業報告

総括的事項	1
1 公益目的事業1 [公1] (文化振興事業)	1 ~ 8
2 収益事業1 [収1] (県民文化センター自主事業)	8
3 公益目的事業2 [公2] (水族館事業)	9 ~ 22
4 収益事業2 [収2] (水族館売店事業)	22 ~ 23
5 法人運営事業	23 ~ 24

I 令和5年度事業報告

公益財団法人いばらき文化振興財団の設立趣意に則り、県民のニーズを踏まえた魅力ある文化振興事業を行い、個性豊かな地域文化の創造を図るため次の事業を行った。

総括的事項

第5期中期経営計画（2021年度～2023年度）に沿った運営に努めた。

- (1) 文化活動団体等への助成については、創意・工夫を凝らし積極的な取り組みを行っている文化活動団体等への支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という。)の影響を受けている団体等の活動の再活性化を図るため、追加募集による支援拡充を図り、県民の豊かな感性と創造性の育成を高める基盤づくりに努めた。

また、参加創造事業については、県内在住・出身の新進演奏家に対し活躍できる機会を支援する事業を実施するとともに、新たな取り組みとして幼児・学生等を対象に県内を巡回する「アウトリーチ事業」を実施し、未来を見据えた文化芸術に興味関心を促す仕組みづくりに努めた。

- (2) 文化芸術に接する機会の提供については、コロナ禍からの回復を目指し、文化庁などの各種助成金を活用し収支均衡を保ちながら適切な価格設定で鑑賞しやすい環境を整備するとともに県民要望に沿った多種多様なジャンルの舞台公演や本県にゆかりある新進演奏家と協働で創作した財団独自の公演などを提供し、舞台鑑賞を通じた本県の文化芸術を支える基盤づくりに努めた。

- (3) 茨城県立県民文化センターの運営については、新型コロナの5類移行に伴い、以前のような運営が可能となったが、1催事あたりの参加者数がコロナ禍以前の水準に戻りきらないことや、令和5年7月の水戸市民会館開館の影響を受け、厳しい環境での施設運営となった。

そのような中で、利用促進チームによる積極的な営業活動やクラフト市等の初開催、Web予約システムの本格稼働や利用団体とのデジタル技術を活用した開催打合せによる利便性向上などにより、前年度対比4.3%増の354,099人(クラフト市含む。前年度339,509人)となった。

- (4) アクアワールド茨城県大洗水族館については、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして効果的かつ円滑な展示と運営に努めた。

令和5年度は、茨城県のデスティネーションキャンペーン(以下「茨城DC」という。)や人気キャラクターとのコラボ事業等の効果もあって、総入場者数は目標の1,198,251人を上回る1,208,906人と歴代3位の記録となり、前年度に引き続き120万人台の実績となった。

1 公益目的事業1（文化振興事業）

- (1) 文化振興推進事業

ア 文化芸術活動への助成、情報の発信

文化活動団体等への助成については、県内で創意工夫を凝らし積極的な取り組みを行っている団体等への当初募集に加え、新型コロナの影響を受けている団体等への追加募集による支援拡充で、県民の創作活動を活性化させる基盤づくりに努めた。

また、コロナ収束後の更なる文化活動の発展を推進するための制度再設計と活動成果発表の集客を支援する情報発信コンテンツの新規構築を行った。

区 分	当初募集		追加募集		合 計	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
助成交付件数 (件)	83	79	12	8	95	87
助成額 (千円)	19,877	17,857	2,500	1,138	22,377	18,995

※令和5年度追加募集（募集期間：令和5年7月10日～8月17日）

イ 参加創造事業

県内在住・出身の新進演奏家に対し活躍できる機会を支援する「新進演奏家ステップアップ事業」をはじめ、提案者との協働で制作した作品を広く県民に披露する「県民企画公募型事業」や、身近に舞台芸術に触れる機会を提供する「担い手育成事業」など、目的別に9事業を実施した。

なお、新たな取り組みとして県内を巡回する「アウトリーチ事業」として、園児を対象に音を体で感じる体感プログラム『リズムで遊ぼう!』、中学生を対象にプロの演奏家とのレッスン・交流・共演を行う演奏家育成プログラム『ジョイントブラス』を実施し、未来を見据えた文化芸術に興味関心を促す仕組みづくりに努めた。

実施日	公演名	会 場	回数	入場者数
7月～9月	県内巡回アウトリーチ事業「リズムで遊ぼう!」 ・7月12日(水) 認定こども園ほほえみ(121人) ・9月6日(水) 赤塚幼稚園(132人) ・9月11日(月) 豊里もみじこども園(120人) ・9月20日(水) 渡里幼稚園(102人)	県内幼稚園等	4	475人
8月20日(日)	県民企画公募型事業 「野口雨情140周年記念コンサートツアー」	小ホール	1	390人
9月24日(日)	新進演奏家ステップアップ事業 「第49回茨城県新人演奏会」	大ホール等	1	280人
10月7日(土)	県民企画公募型事業 「Twice as Cool 3つの弦楽器と躍動する身体の化学反応」	小ホール	1	89人
10月28日(土)	担い手育成事業 「親子で楽しむ0歳からのコンサート」	小ホール	2	381人
11月19日(日)	新進演奏家ステップアップ事業 「新人演奏会受賞者コンサート」	常陽藝文センター	1	180人
2月10日(土)	水族館(事業所間)連携事業 「バレンタインナイト」	大洗水族館	1	550人
2月12日(月・祝)	新進演奏家ステップアップ事業 「100年ブラス・ミュージック!+PLUS」	小ホール	1	321人
3月17日(日)	県内巡回アウトリーチ事業「ジョイントブラス」	八千代第一中学校	1	187人
合 計 (9事業)			13	2,853人

ウ 新進演奏家への支援

財団自主公演事業での活用をはじめ県内巡回アウトリーチ事業や県受託事業『文化芸術体験出前講座』への講師派遣、市町村等催事への出演派遣を行い、年間を通して新進演奏家が活躍できる機会の支援に努めた。

なお、各企業・市町村催事等への新進演奏家の派遣依頼を推進するため、プロモーションを強化する情報発信ツールの再構築を行った。

<演奏家出演・派遣人数内訳>

- ・財団自主公演事業 : 84名 (7事業)
- ・アウトリーチ事業 (出前講座) : 208名 (68講座)
- ・公立施設主催催事への演奏家派遣 : 13名 (5事業)

エ 受託事業

体験を通して身近に文化芸術に触れ合う機会の提供を促進するため、年間を通して2種類のアプローチ (一般枠・学校枠) による講座を実施し、広く県民に文化芸術へ興味関心を促すとともに、子どもたちの豊かな感性や創造力などの育成に努めた。

また、美術関係の講師との意見交換で、一流の作品を鑑賞する講座の必要性が判断されたため、計画を一部変更し学校枠に『美術鑑賞講座』を新設するなどして、前年対比8講座増の117講座の実施となった。

区分	項目	実施日	会場	講座数	参加者数	
一般枠	音楽	弦楽	7月9日(日)	水戸市見和市民センター	1	85人
		和太鼓	7月22日(土)	潮来市立図書館	1	44人
		室内楽	11月25日(土)	鉾田市立大洋公民館	1	215人
			12月17日(日)	鹿嶋勤労文化会館	1	450人
	能楽	9月17日(日)	守谷市中央公民館	1	144人	
学校枠	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽 : 68講座 ・美術 : 15講座 ・美術鑑賞 : 1講座 ・伝統文化 : 16講座 ・リボン : 5講座 ・能楽 : 4講座 ・食文化 : 3講座 	6月~3月	県内小中高等学校 特別支援学校	112	12,778人	
合計				117	13,716人	

(2) 県民文化センター指定管理事業

ア 施設の利用状況

令和5年度は、5月の新型コロナの5類移行に伴い施設利用制限が解除されて以前のような運営が可能となり、本県の文化施設の拠点として、利用者が安全で安心して施設が利用できるような運営に努めた。しかしながら、1催事あたりの参加者数がコロナ禍以前の水準に戻りきらないことや7月の水戸市民会館の開館等により厳しい環境のもとでの運営となり特に、大ホール、展示室等を中心として施設利用に大きな影響を受けた。

そのような中、これらの影響を最小限とするため、施設のリピーターに対して、メール・電話等により施設の空き情報等の提供を行い予約漏れ防止や新規予約の営業活動に努めるとともに、利用促進チームによる当館初開催のクラフト市の利用促進誘致活動を実施した。

これらの結果、令和5年度の文化センター利用者数は計画に達しなかったが、前年度比4.3%増の354,099人(クラフト市等含む。前年度339,509人)、施設の利用料金は前年度比3.4%減の90,021千円を確保し、指定管理事業の財源確保に寄与した。

<施設利用実績>

区分	利用者数(人)	利用日数(日)	利用料金(円)	利用率(%)
大ホール	141,870	223	48,201,780	76.6
(R5計画)	(182,400)	(226)	(49,669,000)	(74.3)
(R4実績)	(136,328)	(225)	(50,601,985)	(81.2)
小ホール	39,130	240	12,608,190	70.8
(R5計画)	(60,700)	(261)	(13,254,000)	(78.1)
(R4実績)	(43,583)	(258)	(13,546,090)	(76.8)
本館集会室	47,964	322	5,873,389	91.5
(R5計画)	(60,300)	(321)	(5,901,000)	(92.8)
(R4実績)	(51,043)	(324)	(6,069,806)	(93.4)
分館集会室	31,010	318	13,261,406	89.8
(R5計画)	(41,700)	(329)	(12,330,000)	(94.3)
(R4実績)	(32,236)	(335)	(12,481,047)	(95.4)
和室	1,268	119	867,462	34.2
(R5計画)	(2,500)	(173)	(1,066,000)	(49.7)
(R4実績)	(1,420)	(129)	(1,016,919)	(37.0)
一般展示室	38,720	230	5,327,830	65.7
(R5計画)	(51,600)	(250)	(5,634,000)	(72.5)
(R4実績)	(37,198)	(238)	(5,331,460)	(68.2)
県民ギャラリー	35,872	185	3,299,110	52.6
(R5計画)	(48,800)	(215)	(3,660,000)	(62.3)
(R4実績)	(36,042)	(203)	(3,643,790)	(58.0)
練習室	1,394	159	582,431	45.0
(R5計画)	(2,000)	(160)	(486,000)	(45.7)
(R4実績)	(1,659)	(132)	(528,868)	(41.9)
合計	337,228	1,796	90,021,598	65.6
(R5計画)	(450,000)	(1,935)	(92,000,000)	(71.1)
(R4実績)	(339,509)	(1,844)	(93,219,965)	(69.0)

※クラフト市等：6日、利用者数16,871人 → センター利用者数合計354,099人

※利用率は、利用可能日に対する利用日数の割合。

イ 鑑賞事業

文化芸術の発信拠点施設としての役割を踏まえ、本県にゆかりのある新進演奏家等で編成した楽団による演奏会『仲道郁代×イバラキ・ニューフィルハーモニー』をはじめ、当センター18年振り開催のNHK交響楽団公演や人気タレントが多数所属する劇団によるエンターテインメントショー『WAHAHA本舗全体公演』、講談師『六代目 神田伯山独演会』、有名アーティストによるJ-POP公演など計画通り22事業を提供し、多種多様なジャンルの舞台芸術に触れる機会の充実を通して、文化芸術を支える基盤づくりに努めた。

なお、文化庁の各種助成金や企業協賛金を積極的に活用・獲得し、収支均衡を保ちながら適切な価格設定で鑑賞しやすい環境を整備した。

区分	実施日	公演名	会場	回数	入場者数
音楽	5月27日(土)	飯森範親×東京佼成ウインドオーケストラ	大ホール	1	850人
演芸	5月28日(日)	春風亭小朝 独演会	小ホール	1	270人
音楽	6月10日(土)	東京21世紀管弦楽団「情熱のコンチェルト」	大ホール	1	1,158人
舞踊	7月2日(日)	ウクライナ国立民族舞踊団	大ホール	2	2,602人
その他	7月16日(日)	リアル恐竜ショー・恐竜パーク	大ホール	2	2,554人
音楽	7月17日(月・祝)	NHK交響楽団 茨城特別公演	大ホール	1	1,294人
演劇	8月6日(日)	WAHAHA本舗全体公演「シン・ワハハ」	大ホール	1	1,176人
音楽	8月19日(土)	森山直太朗コンサート	大ホール	1	1,419人
音楽	9月2日(土)	浜崎あゆみ25周年記念ライブ	大ホール	1	1,479人
音楽	9月9日(土)	ぶっちぎり!歌まねライブ	大ホール	1	968人
音楽	9月18日(月・祝)	仲道郁代×イバラキ・ニューフィルハーモニー	大ホール	1	1,198人
舞踊	9月23日(土)	キーウ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」	大ホール	1	767人
古典芸能	9月29日(金)	六代目 神田伯山独演会	小ホール	1	372人
古典芸能	10月3日(火)	一龍齋貞鏡独演会	小ホール	1	291人
演劇	10月7日(土)	だいすけお兄さんの世界迷作劇場	大ホール	2	2,198人
演劇	11月18日(土)	アンパンマンミュージカル	大ホール	3	4,108人
演芸	11月23日(木・祝)	林家正蔵一門会	小ホール	1	279人
音楽	11月26日(日)	木村大×榊原大「バラード・珠玉の名曲集」	小ホール	1	266人
演劇	12月2日(土)	体験する童話劇「銀河鉄道の夜」	小ホール	2	316人
演劇	12月19日(火)	劇団民藝「ある八重子物語」	大ホール	1	582人
音楽	2月28日(水)	牛田智大ピアノリサイタル	大ホール	1	798人
古典芸能	3月23日(土)	夏井いつき句会ライブ	大ホール	1	745人
合 計 (22事業)				28	25,690人

ウ 施設の利用促進及びサービスの向上

(ア) 利用促進対策

ホームページ等で大・小ホール、展示室、県民ギャラリー等の施設空き情報やコンサート等の最新情報を提供するとともに、近隣市町村の文化施設及び関係団体等約 400 団体に情報誌「催し物ご案内」(9,000 部発行)を毎月発送し、来館者の利用促進に努めた。

また、利用促進チームを中心に、過去の利用団体の状況分析や誘致活動計画等を毎月の利用促進会議で協議し、リピーター及び新規団体への誘致活動を行った。

過去の利用実績のある団体に対して、例年、同月に利用している団体で予約が入っていない場合は、予約漏れの無いよう電話・メールにより確実にリピートを促し、また、各団体や高等学校等への訪問活動を実施するなど、積極的に誘致活動を行った結果、132 件(令和 5 年度分 66 件、令和 6 年度分 66 件)、利用料金 17,111 千円(令和 5 年度分 5,141 千円、令和 6 年度分 11,970 千円)の予約を獲得した。

また、新規事業として、当センター初の地域参加型イベント「手づくりアート・クラフト市」を年 3 回開催するとともに、会館全体を使用しての大規模音楽フェスを年 2 回誘致し、センターの賑わい創出と利用促進を図り、これらにより延べ 16,871 人を集客することができた。

(イ) 各団体との連携

水戸観光コンベンション協会等、関係各団体と連携し、全国規模や地域ブロック規模の大会等の誘致や情報交換を行うとともに、茨城文化団体連合等と連携強化を図り、展覧会等誘致に努めた。

なお、茨城県公立文化施設協議会及び全国公立文化施設協会との連携により、加盟施設館との情報共有や文化施設の職員を対象とした各種研修会等を開催し、県内施設職員の企画・技術力の向上を図るとともに先導的役割を果たした。

< 誘致活動実績 >

- ・活動件数実績：564 件(計画比 84 件増)
- ・予約実績：件数 132 件、利用料金 17,111 千円

(ウ) サービスの向上

昨年度導入の、インターネットから集会室等の予約が 24 時間実施可能な Web 予約システムの周知を強化し、利用者の利便性向上と業務の効率化を図った。(今年度 Web 登録団体数：81 団体(うち新規 31 団体)、今年度予約件数：435 件)

また、チケット販売については、引き続き窓口での販売に加え、インターネットによりチケット購入が出来る Web チケット販売システムの利用促進に努めた。(Web 会員登録者：1,531 人、前年比 349 人増)

さらに、会館利用者等を対象とした満足度調査(アンケート調査)を実施し、利用者等から 464 件の回答が寄せられ、要望のあった 26 件のうち、速やかに対応可能な駐車場渋滞緩和等 4 件については対応済みである。

施設の実施方法の説明や打合せ等において、施設や設備、舞台上の配置を示した仕込み図、舞台上の照明の動作を紹介する 3D モデル等を画像・映像として電子データ化し、それらをタブレット等で紹介して利用者がイメージしやすい案内・対応により好評を得た。

また、コロナ禍における多様な催事開催を支援するため、オンライン環境を活用して当館での催事を動画配信するサービスを提供し、年間で 36 件を提供することができた。

(エ) 県民文化センター友の会の運営

会員向けのサービス提供として、財団主催や貸館のコンサートなどについて、チケット割引 36 件、先行予約販売 18 件計 54 件を実施するとともに、会員からの開催要望が高かった「講談」を開催するなど、会員に対するサービスの提供を行い会員確保に努めるとともに、友の会の解散に伴う「ファイナルコンサート」を県内在住・出身の演奏家の出演により開催し、会員への還元を行った結果、前年度対比 43 人増の 1,593 人の会員数を確保することができた。

<友の会活動の概要>

会員数	1,593 人（令和 6 年 3 月 31 日現在）（昨年度 1,550 人）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">●チケット割引及び会員先行販売の実施（54 件）●催し物案内の配布●公演事業の開催<ul style="list-style-type: none">・講談師「一龍齋貞鏡 独演会」 令和 5 年 10 月 3 日（火）ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール 出演者：一龍齋貞鏡、他、参加者数：291 人・第 52 回新春声楽コンサート 令和 6 年 2 月 18 日（日）ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール 出演者：友の会会員、他、参加者数：100 人（うち出演者 23 組 33 人）・県民文化センター友の会ファイナルコンサート 令和 6 年 3 月 10 日（日）ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール 出演者：住谷美帆（サクソフォン）、川嶋志乃舞（津軽三味線）他、参加者数：550 人

エ ピアノを活用した参加事業

世界三大ピアノの一つである「スタインウェイ」を活用した参加事業を年 10 回開催し、反響板及びコンサート照明を使用したコンサートスタイルのステージでのスタインウェイの体感プログラムを提供した。また、希望者には、演奏技術の向上を図るための記録動画及び演奏家による講評や、他の楽器を持ち込んだアンサンブルも可能とし、さらには、国産ピアノ（ヤマハフルコン CFIII-S）との弾き比べも行い、利用者の多様な要望に応えた。

※実施回数：10 回、応募総数：119 人、参加人数：58 人、録画：20 人、講評：10 人
アンサンブル：1 人、弾き比べ：15 人

オ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備

県民文化センターは開館から 57 年が経過し、施設の長寿命化を図るため、県と協議のうえ計画的に修繕を実施し、安全を確保しながら、緊急性の高い修繕を優先し迅速な工事を実施した。

<指定管理事業部門修繕工事>

大ホールワイヤーロープ交換工事、舞台照明用 UPS バッテリー交換工事、集会室 5 号改修、本館南面外灯 LED 化工事など、計 16 件を実施した。

<県直轄工事>

安全安心な施設を目指すため、大ホール調光設備改修工事（調光卓）、本館直流電源装置改修工事、分館止水板設置工事、厨房内天井改修工事、計 4 件を実施した。

(イ) 危機管理対策

不特定多数の利用者が来館されることから、全職員及び委託業者等を対象に、年2回の避難訓練（火災訓練・大規模地震避難訓練）を実施し、利用者の安全確保に努めた。

また、緊急時に迅速な対応ができるよう、平常時より危機管理への備えを万全にしておくため、危機管理対応マニュアル及び防火管理規定集を全職員及び分館入居団体、業務委託先等に配布し、防災意識向上に留意して利用者の安全確保に努めた。

さらに、自動体外式除細動器（AED）の講習会を実施し、緊急時の利用者の応急手当の知識と技術習得に努めた。

2 収益事業1（県民文化センター自主事業）

(1) 売店事業

売店事業については、売店本体の運営は外部委託とし、今年度より弁当予約及び付随する飲料販売等のみを実施した。新型コロナの行動制限解除に伴い、弁当注文等が回復傾向になり、当初計画を上回る売上額となった。

区 分	実 績 (A)	計 画 (B)	R4 実績	増減 (A) - (B)
売店収入	1,359,570 円	493,000 円	3,716,490 円	866,570 円
手数料収入	2,079,389 円	1,087,000 円	1,466,291 円	992,389 円

(2) 駐車場事業

茨城県から管理許可を受けた千波公園・ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場を、利用者が安全かつ円滑に利用できるよう管理運営を行った。なお、コンサート等催事の際には、適宜、警備員を配置し安全対策を行うとともに、出口渋滞緩和対策として駐車場内での複数の案内板による案内や、原則、料金所側から出庫してもらうなどの案内を引き続き実施し、出庫がスムーズとなるよう努めた。

結果、駐車場利用台数、料金ともに計画を上回るとともに、駐車場収入は前年度対比で11.0%増の26,172千円となった。

区 分	実 績 (A)	計 画 (B)	R4 実績	増減 (A) - (B)	
駐車場収入	26,172,340 円	20,377,970 円	23,584,820 円	5,794,370 円	
利用台数	120,020 台	112,871 台	120,653 台	7,149 台	
料 金 徴 収 状 況	全額徴収	39,058 台	30,566 台	36,651 台	8,492 台
	1/4 免除	27,305 台	20,792 台	22,053 台	6,513 台
	1/2 免除	4,965 台	5,213 台	5,312 台	△248 台
	全額免除	37,162 台	38,700 台	40,968 台	△1,538 台
	還 付	11,530 台	17,600 台	15,669 台	△6,070 台

3 公益目的事業2（水族館事業）

基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通し、生物の多様性や自然環境・地球環境について、楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えた施設として、引き続き「さぁ、新世海！NEW WORLD NEW AQUAWORLD」を基本コンセプトに運営を行った。

出会いの海の大水槽の照明機材などを刷新した「IWASHI LIFE」のリニューアルをはじめ、大型知的財産（以下「IP」という。）コラボイベントを実施し、繁忙期のさらなる誘客に繋げたほか、令和6年3月20日には、神秘の海ゾーンのクラゲ展示コーナーのリニューアルが行われ、クラゲ大水槽「くらげ365」を中心にミズクラゲのライフサイクルを四季の移ろいととともに巡る新感覚の展示コーナーとして生まれ変わった。

GWには時間制によるWeb予約・年間パスポートのみとするなどの入場規制を行い、継続されていた感染防止対策のため、混雑緩和を図った。新型コロナが5類へと移行後のお盆期間はコロナ禍前と同様の営業体制となり、多くの入場者を迎えることができた。

入場者数において、上半期は720,212人（予算対比3.5%増）と好調であったが、下半期は茨城DCなど話題性があったものの予算未達が続ぎ、季節催事や年パスキャンペーン等の打ち返し策を実施した。年明け以降は、金色ヒラメなど話題性のある展示生物や学割キャンペーン、クラゲ大水槽「くらげ365」のリニューアルにより回復したものの、下半期は488,694人（予算対比2.7%減）となった。総入場者数は、目標の1,198,251人を上回る1,208,906人となり、歴代3位の成績となった。

(1) 入場者実績

(単位：人)

区 分	R5 実績 (A)	R5 計画 (B)	増 減 (A)-(B)	R4 実績 (C)
一 般	702,489	777,986	△75,497	752,771
団 体 等	274,852	193,193	81,659	219,499
年間パスポート	29,024	28,821	203	29,558
年パス2回目以降	102,273	89,414	12,859	90,718
有料入場者計	1,108,638	1,089,414	19,224	1,092,546
無料入場者	100,268	108,837	△8,569	108,154
総入場者	1,208,906	1,198,251	10,655	1,200,700

(2) 飼育展示事業・調査研究事業

ア 魚類展示

魚類の飼育機器・施設の適切な管理と生物の健康管理、安定した飼育環境作りのために、「上流の自然」、「世界のサメ」各水槽の汙過槽炉砂交換、「大洗の生物2」、「大洗の生物3」各水槽の槽内塗装、「世界のサメ」水槽の底面・壁面補修、「おもしろ生物7」、「おもしろ生物8」の各水槽は経年劣化により水槽が破損したため、水槽の交換を実施した。

館内展示水槽の刷新に努め、5月は「出会いの海の大水槽」のIWASHI LIFEの演出内容をリニューアルしたほか、ハロウィン、クリスマスの時期には季節に合わせた特別演出を実施した。12月には「ナイトアクアワールド」のリニューアルに合わせ、昼夜の展示を差別化するため、照明による演出や手書き看板の設置などを行った。3月には、「くらげ365」水槽をはじめとしたクラゲエリアについて演出変更等のリニューアルを実施した。また、映像を使用したわかりやすい解説や生物の情報発信のため、3月に「サメの海1」、「サメの海2」、「世界のサメ」各水槽の魚名板をデジタルサイネージに変更した。

(ア) 展示生物収集

各水槽の展示の充実を図るため、会瀬漁協や地元漁業者からの購入・寄贈、自家採集、他園館との生物交換等を実施した。(収集計 156 回、収集生物点数 221 種 21,636 点)

(展示生物収集実績)

収集方法	回数	種類数	点数	主な生物
会瀬定置網から購入	19	27	166	クロヘリメジロザメ、ホシザメ、マンボウ、キアンコウ、イトヒキアジ 他
活魚業者、漁業者から購入 (会瀬定置網を除く)	75	53	19,910	マイワシ、カラージェリー、オオテンジクザメ、デバスズメダイ、ヤマメ、イワナ、アユ 他
漁業者等からの寄贈	15	21	27	イタチザメ、シビレエイ、ヒラメ黄化個体 他
県調査船 (いばらき丸)からの寄贈	6	10	16	クロテングギンザメ、エドアブラザメ、ミツクリザメ、ミドリフサアンコウ 他
自家採集 (涸沼、磯、大洗マリーナ等)	32	61	1,177	シラウオ、マボヤ、ヤドカリ類・カニ類 ヒトデ類・ウミウシ類 他
生物交換【搬入】 (加茂水族館、鴨川シーワールド、 九十九島水族館、下田海中水族館、 新江ノ島水族館、東海大学海洋科学博 物館、なかがわ水遊園、新潟市水族館、 室蘭水族館)	9	49	340	タカアシガニ、ヒゲツノザメ、マンボウ、 ウチワザメ、カワムツ、アカムツ、サムクラゲ アブラボウズ、スケトウダラ ショートテール ナースシャーク、スモールスポッテッドキャッ トシャーク他
生物交換【搬出】 (加茂水族館、下田海中水族館、 新江ノ島水族館、上越市立水族博物館 仙台うみの杜水族館、なかがわ水遊園 新潟市水族館、室蘭水族館)	11	21	109	マルタ、ネオンテトラ、クロヘリメジロザメ、 サンゴトラザメ、スケトウダラ、アラビアンカ ーベットシャーク、キンメダイ アカシユモク ザメ他

(イ) 生物展示の充実

- ・4月に「大洗コレクション水槽」にて県内で採集したシロウオの当館初展示を行った。
- ・5月には、「出会いの海の大水槽」で実施している IWASHI LIFE の演出内容のリニューアルを行い、9月から10月にはハロウィン、11月から12月にはクリスマスと季節に合わせた特別演出を実施した。
- ・7月には、2021年に国内初繁殖したシロワニ幼魚 (No.9) を「サメの海2」水槽から「サメの海1」水槽へ移動し、親子同居展示を開始した。
- ・7月および11月には、本県で採集し畜養していたイタチザメを「サメの海2」水槽で展示した。
- ・12月にオオテンジクザメを新規導入し、同月「熱帯・亜熱帯海域のサメたち」水槽で当館初展示した。
- ・2月に九十九島水族館海きららと生物交換を行い、ヒゲツノザメ2個体を航空貨物にて輸送搬入し、「大陸棚を彩る魚たち」水槽で展示した。
- ・2月には、東京大学大気海洋研究所と共同研究しているトラザメの卵形成に関する紹介展示として、トラザメ幼魚と発生卵およびデジタルサイネージでの映像解説を「さめっこるーむ」で実施した。

- ・3月にはシマザメが国内初繁殖したため、「さめっこるーむ」で展示した。併せて発生卵の展示とデジタルサイネージでの映像解説を行った。
- ・上流水槽でのヤマメの展示効果を上げるために実施した給餌体験は、延べ26,862人の参加者数となった。

(ウ) 生物の繁殖育成

- ・サメ・エイ類ではシロワニをはじめ、シマザメ、エパウレットシャーク、ホーンシャーク等9種187点が繁殖した。シロワニは2021年の国内初繁殖に続き、同一個体による連続繁殖で、国内では2例目となった。そして、シマザメは国内初繁殖の事例であった。
- ・クラゲ類では、キタユウレイクラゲやシロクラゲ等13種が繁殖し、一部展示に供した。

(エ) 調査・研究

- ・4月に取水棟で採集したワタボウシクラゲが茨城県内初記録であったことから、共著論文を発表した。
- ・5月に繁殖したシロワニ産仔個体に対し、胃内部への送気処置を行い一定の回復が確認されたため、経過データを集積した。本個体はおよそ1カ月後に死亡したが、産仔個体における空気取り込みに関する知見が得られたため、学会発表した。
- ・単為生殖によるトラフザメ幼魚の全長計測を月1回の頻度で実施し、成長に関するデータを集積した。
- ・東京大学大気海洋研究所のグループと、トラザメの卵生成等に関する共同研究を通年継続した。また、同種において、福井県立大学の研究グループと免疫等に関する共同研究を実施し、共著論文を発表した。
- ・漂着したウミガメ類の調査を10回実施し、データを収集した。
- ・大洗マリーナ内で6回の潜水目視調査を行い、季節ごとの来遊魚を観察し、一部収集したウミウシ類などを展示した。
- ・7、8月に大洗町漁協と地元漁師の協力のもと、大洗沖のサメ類調査を3回実施した。
- ・3月には、シロワニ繁殖協議会による小笠原シロワニ調査に参加し、発信器装着放流および潜水目視調査を実施した。

(オ) 研究発表

・共同論文

「西日本のサメの歯 牙齧（がぞく）編

～西日本におけるサメの歯の集成と弥生時代「サメの歯齧」の再検討～

茨城県考古学協会誌35号（抜刷）2023年5月

「Progesterone initiates tendrill formation in the oviducal gland during egg encapsulation in cloudy catshark (*Scyliorhinus torazame*)」

「トラザメ卵殻腺におけるツル形成について」

Zoological Letters 2023年5月

「Species in Disguise: A New Species of Hornshark from Northern Australia (Heterodontiformes: Heterodontidae)」

「類似種：オーストラリア北部におけるホーンシャークの新種について」

MDPI 2023年7月

「CD4 and LAG-3 from sharks to humans: related molecules with motifs for opposing functions」

「サメ類からヒトへの、相反する機能をもつ関連分子である CD4 および LAG-3 について」

Frontiers in Immunology 2023年12月

「茨城県初記録のワタボウシクラゲ *Tiaricodon orientalis* (ヒドロ虫綱,花クラゲ目)」

日本生物地理学会会報第78巻 2023年12月

・口頭発表

「高知県室戸市沖で確認したコトクラゲ」

日本刺胞・有櫛動物研究談話会 高知大会 2023年9月

「遊泳不良のシロワニ産仔個体に対する処置と予後について」

「トラザメにおいてプロゲステロンは卵殻形成開始のスイッチを押す」

日本板鰓類シンポジウム 2023年12月

「軟骨魚類における CD4 および LAG-3 遺伝子の同定および発現様式」

日本水産学会春季大会 2024年3月

・ポスター発表

「広塩性アカエイの淡水適応と腎機能：栄養素の保持という観点からの解析」

「卵生板鰓類トラザメの卵殻内菌叢解析と抗菌活性物質の探索」

日本板鰓類シンポジウム 2023年12月

(カ) 展示解説等

「バックヤードツアー」については、サメやマンボウ、出会いの海の大水槽で飼育員による給餌解説を実施した。また茨城 DC に合わせ、期間中に給餌体験を組み込んだ「サメスペシャルツアー」を開催した。館内及びバックヤードの案内を希望する学校団体に対しては臨時解説を実施した。

区分	場所	回数	参加者数
バックヤードツアー	5F バックヤード 1F 備蓄水槽	延べ 297 回	4,893 人
サメスペシャルツアー	5F バックヤード 1F 備蓄水槽	延べ 91 回	841 人
学校バックヤードツアー	5F バックヤード	延べ 44 校	2,310 人

(キ) ミュージアムパーク茨城県自然博物館水系展示水槽管理委託事業

県自然博物館の水系展示水槽の委託業務として、展示生物の入手及び水槽・水質の維持管理を行い、令和6年3月31日現在、ヤマメ・ウグイ・トラザメ等77種643点を展示した。また、館外においては、大洗マリーナでの潜水採集、磯採集等で収集を行い展示生物の充実を図ったほか、サイエンスデーでは、「磯の生物タッチングコーナー」や「バックヤードツアー」事業に協力し、標本資料の保管、博物館の定期刊行誌に寄稿するなど、博物館との連携協力を努めた。

イ 海獣展示

オーシャンライブについては、館イベントの一環として特別バージョンライブを夏・秋・クリスマス・正月に実施した他、茨城ロボッツや水戸葵陵高校とのコラボや大洗町成人式、台湾観光誘致イベント等で特別ライブを実施対応した。

また、12月には約2年間継続していたナイトライブ「雪月花」を全面リニューアルし、新プログラム「MEETS the BEATS」を開催した。

昨年度整備した「エキサイティングステージ」については、広いスペースを利用してカリフォルニアアシカの2頭出演の頻度を上げ、夏の特別ライブでは、エキサイティングステージ上にお客様を招いての参加型ライブを開催するなど、多方面で利用しつつ、ライブの幅を広げている。

令和5年11月に県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫体制として、11月29日より12月27日まで屋外エリアの閉鎖を行ったが、その間もできるだけ顧客満足度（以下「CS」という。）を維持するための工夫として、屋外開催予定であった「アシカ Xmas フォト」などについては、屋内開催するなどの工夫を行いCSの維持に努めるとともに、近年の高病原性鳥インフルエンザの発生状況に鑑み、当館における高病原性鳥インフルエンザ防疫マニュアルの改訂も行った。

（ア）展示の充実

- ・オーシャンライブでは、館内イベントと連携を図り、特別バージョンのライブを実施した。特に夏期ライブ「Aqua Fes」では、一部参加者がエキサイティングステージで動物とともに演技する参加型ライブを実施した。また、広くなったエキサイティングステージを最大限活用して、大洗町成人式や茨城ロボッツ・水戸葵陵高校などとのコラボライブ、台湾観光誘致イベントなどにも特別ライブとして対応している。また、今年度初の取り組みとして、繁忙期に1日8回のライブを開催し、館内の混雑緩和とCSの向上に努めた。
- ・地域連携として12月27日に、昨年度に引き続き水戸葵陵高等学校書道部とカリフォルニアアシカとのコラボレーションで書道作品を制作するパフォーマンスを実施し、完成した作品を館内に掲示することで正月のイベントを盛り上げる一助とした他、茨城ロボッツとのコラボライブなどにも対応した。

（イ）生物繁殖事業の推進

- ・バンドウイルカ（モモ）が令和6年3月29日にメスの仔獣を出産し、現在もホールディングプールにて育成中である。
- ・エトピリカは、13卵の産卵があり3羽が孵化し、1羽が順調に成長している。
- ・フンボルトペンギンは、65卵の産卵があったが、近親交配などの理由でふ化可能ペアに限られるため育成は2卵にとどまった。また、この2卵についても抱卵途中で破卵が確認されている。
- ・カナダカワウソについては、雌雄での同居試験を繰り返した結果、令和6年3月に複数回の交尾を確認している。

（ウ）調査・研究活動の推進

漂着については、鯨類8件の調査を実施し、各種データの収集に努めた。また、東京大学・大気海洋研究所の研究テーマ「フンボルトペンギン塩類細胞の組織・発生学的研究」に対し、フンボルトペンギンの卵を提供した。

また、令和5年度にバンドウイルカの人工授精について新江ノ島水族館に精子を提供するための契約を昨年度末に締結し、契約に基づいて令和5年5月8日に当館のバンドウイルカ（ニック）の精子を提供し、無事妊娠が確認された。

(エ) 展示解説等

昨年度末より再開した「アシカのもぐもぐタイム」「オットセイのもぐもぐタイム」「アシカのおさんぽタイム」に加え、高病原性鳥インフルエンザ防疫の観点から中止していた「ペンギンのもぐもぐタイム」「ペンギンのおさんぽタイム」については、4月22日より再開した。また、新型コロナにより約2年間中止していた屋内の給餌解説（カワウソのもぐもぐタイム、ゴマファザラシのもぐもぐタイム、エトピリカのもぐもぐタイム）についても4月1日より再開した。なお「ペンギンのおさんぽタイム」「ペンギンのもぐもぐタイム」については、県内での鳥インフルエンザ発生に伴い、令和5年11月21日より令和6年3月21日までの間中止とした。

また、リニューアルエリアのPRの一環として開催した季節イベントのうち、夏季の「アシカの打ち水タイム」、冬季の「アシカのイルミネーション点灯式」などにカリフォルニアアシカが参加して対応した（「イルミネーション点灯式」については、11月29日に県内で鳥インフルエンザが確認されたため、以降中止となった）。

付帯プログラムとしては、今年度初開催の「オットセイのごはん」「アシカのごはん」「アシカの元気注入」「アシカの一筆入魂」を含む12プログラムを開催し、のべ14,068名の参加者を得た。特に「アシカの元気注入」は季節のイベントとしてテレビで紹介されるなどしたため、人気を博した。

一昨年度より開始したエキサイティングシートについては、昨年度末よりエキサイティングステージを稼働したため席数が減少（38→20席、△47%）したが、稼働率は上がり、参加者数の減少は昨年比で△16%にとどまった。

区 分	場 所	回 数	参加者数
イルカとふれあおう	ライブ用デモプール	24回	111人
ペンギンのごはん	ペンギン水槽	212回	3,648人
カワウソのごはん	カワウソ水槽	38回	114人
アシカのごはん	アシカ水槽	9回	2,138人
オットセイのごはん	オットセイ水槽	23回	102人
アシカと握手	アシカ水槽前	77回	1,248人
アシカの元気注入	アシカ水槽前	40回	345人
アシカの一筆入魂	アシカ水槽前 or ライブ会場	33回	185人
アシカフォト	屋外エリア or ライブ会場	18回	164人
イルカフォト	オーシャンホール	20回	101人
イルカタッチ	ライブ会場	44回	656人
エキサイティングシート	ライブ会場	126日	5,256人
計			14,068人

(3) 教育普及事業

生物や環境について、楽しみながら学ぶことができる活動を目的に館内外で解説・講習・自然体験塾等の活動を実施した。ホームページや機関誌を通して水族館に関連した各種情報の提

供に努めるとともに、学校等からの要請によりオンラインでの講師派遣を開催した。その他、生涯学習施設としてボランティア活動支援を行った。

ア 発見体験学習

募集型事業として「自然体験塾」を開催し、上期を中心に多くの応募があった。特にイルカ、ペンギン、サメに関連する講座は人気が高く、中には倍率が9倍を超えることもあった。また、ウミガメの講座やビーチコーミングの講座を新規に開催し、屋外実施プログラムが天候の影響で2講座中止となったが、15講座22回の実施で264名が参加した。

イ ボランティア活動支援

ボランティアグループ「マンボラクラブ」の支援を行った。毎月1回の役員会を開催し、要望の集約・活動課題、研修計画等の検討・整理を進めるとともに、クラブ会員数を随時募集して登録者の増加を図った。4年間、コロナ禍で休止していたイベント「マンボラフェスタ」を11月18日、19日に生き物発見教室のレクチャールームで開催した。

ボランティア登録者数	50人（令和5年3月31日）
活動時間	延べ2,337時間
活動者数	延べ526人

ウ 機関誌「Sea遊」の発行

水生生物等への理解促進を支援するとともに、水族館のイメージアップ、広報を図るため、展示生物の興味深い生態やトピックス等の様々な情報を紹介する機関誌を年2回発行し、国内の動物園・水族館をはじめ、県内教育機関及び栃木県の小中学校へ配付した。（発行部数：44号4,000部、45号4,000部）

エ 自然教室等への講師派遣

教育機関等の要請に応じた各種館外活動に関しては、魚類展示課・海獣展示課と連携して実施及び調整を行った。

区 分	実施日	対 象	内 容
オンライン授業	6月28日（水）	茨城県立水戸商業高等学校	生物関連
講師派遣	9月29日（金）	茨城県立並木中等教育学校	移動教室
オンライン授業	10月26日（木）	常陸大宮市立大宮中学校	生物関連
講師派遣	11月24日（金）	水戸市立第四中学校	移動教室
講師派遣	12月3日（日）	仙台 ECO 動物海洋専門学校	職業講話

オ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じて、水生生物や飼育設備等をテーマとして各種館内活動を行った。

区 分	対 象	件 数	参加者数
職場体験	中学生～高校生	9件	22人
バックヤード見学	小学生～大学・専門学校生	46件	2,210人

カ 実習生等の受入れ

大学や専門学校における単位取得の一環として飼育実習を受け入れた。
魚類：21名、海獣：8名

(4) プロモーション活動（広報・営業）

令和5年度は、春と夏に実施したアシカによるプログラムの話題からテレビ放送や取材に繋がりを、オーシャンテラスの継続したPRに成功した。また国内2例目のシロワニ繁殖成功や、当館のサメ飼育が雑誌に巻頭特集として大きく掲載されたことにより「サメの水族館」としてブランド強化を大きく後押しできた。大型IPコラボはWeb発信での相性が良く、掲載件数も上半期で最も多く、夏休みに向けて効果的なPRとなり、誘客に繋がった。また、10月からの茨城DCでは積極的に取材を受け入れることで当館の認知度向上に努めたほか、右向きヒラメや金色ヒラメ、3月のクラゲ大水槽「くらげ365」リニューアルなど生物に関する話題も尽きることなく、開館以来、歴代3位の入場者数を後押しする結果となった。

広報媒体については、紙媒体から脱却し、WebやSNSによる情報発信を強化した。SNSは更新頻度を維持し、旬な情報を随時投稿したほか、イベントに合わせて他社とのSNS発信の連携を試みるなど、さらなるフォロワー取得と情報の拡散に努めた。

営業活動においては、周辺ホテルと連携した「宿泊プラン」の販売や大洗町のふるさと納税返礼品に体験型商品等を追加した。今年度は新たに茨城県ふるさと納税返礼品としてユニークベニュー等を掲載サイト「さとふる」で提供した。ユニークベニューでは新オプションとして「出会いの海の大水槽の照明演出」を追加した他、学校利用に保育園と幼稚園を導入するとともに、県内を中心としたウェディング事業者へ情報発信し利用誘致を図った。

ア 広報実績

WebおよびSNSを中心に情報発信を行った。今年度は茨城DCによる茨城県への注目度の高まりもあり、特別企画のサメスペシャルツアーを中心に取材や露出が増え、サメの水族館としてさらにPRできる機会となった。展示生物の話題では珍しい右向きヒラメや金色ヒラメなどが多くの新聞やテレビの全国放送でも取り上げられ、季節催事と合わせて水族館らしい話題を提供することができた。

12月には新しい「NIGHT AQUAWORLD」内覧会を開催することで、県内を中心に関係者やメディアを招待し、取材機会の獲得や夜の水族館の新たな魅力を広く発信する機会とした。

区分	有料広報			無料広報		
	R5実績 (A)	R4実績 (B)	増減 (A)-(B)	R5実績 (C)	R4実績 (D)	増減 (C)-(D)
新聞掲載	8件	3件	5件	162件	187件	△25件
タウン誌	0件	0件	0件	2件	2件	0件
情報誌	0件	0件	0件	30件	28件	2件
広報誌	1件	1件	0件	21件	14件	7件
テレビ	0件	0件	0件	86件	52件	34件
ラジオ	12件	10件	2件	16件	6件	10件
Web	286件	289件	△3件	177件	48件	129件
その他	30件	7件	23件	10件	7件	3件
計	337件	310件	27件	504件	344件	160件

(ア) 有料広報

上期は大型IPコラボイベントの開催に合わせて、つくばエクスプレスとJR常磐線での鉄道広告をはじめ、当館では初めてとなるInstagram広告をはじめ飲食店でのサインエージ広告など多様な媒体を用いて実施した。下期は、Instagram広告を中心に実施し、

新しい「NIGHT AQUAWORLD」を訴求するため、県内を対象に1月から3月に長期的に実施したほか、学生を対象としたアクアワールド学割キャンペーン、3月の「くらげ365」リニューアルと、常に新しい情報を発信することで、下期の誘客に努めた。さらに「くらげ365」リニューアルでは、JR山手線車両内モニターでの動画による鉄道広告とGoogle広告を展開した。

(イ) 無料広報

新屋外エリア「オーシャンテラス」でのプログラムや大人気キャラクターとの大型IPコラボイベントをはじめ、県や町、他施設と協力した事業や季節催事とともに、年間を通してサメの話題をはじめとした水族館ならではの生物の話題を発信し、新聞記事やテレビなど多くのメディアに取り上げられた。

SNSにおいてはX(旧Twitter)とInstagramを中心に情報発信をおこなった。X(旧Twitter)は約18万8千人のフォロワー数を誇っており、生物情報、イベント情報、駐車場の満車状況など、様々な情報を発信。その中でも「サメの水族館」のブランド定着もあり、サメ類のツイートの反応がよく、フォロワー数の増加に貢献した。Instagramについては着実にフォロワーを増やし、2万2千人を超え、生物情報を中心にURLリンクを利用したイベントPRなども取り入れた投稿を実施した。

イ 営業活動等

コロナ禍により首都圏からの利用が増えていることから、首都圏を意識した情報発信に努め、圏央道周辺の埼玉、千葉をはじめとした隣県の旅行業者等へイベント等のリーフレットやチラシ配布を行った。県内外の学校へは市町村教育委員会を通じ、利用案内資料をダイレクトメール発送した。ユニークベニューでは新たな利用エリアを加え、茨城ウエディング協議会等へパンフレット配布や説明会を実施した。その他、県と協力した茨城空港利用の海外団体誘致促進活動や茨城DCのPRを行った。

(ア) 営業活動

・ユニークベニュー利用誘致活動

カジキ釣り国際大会を中心とする総合イベント「IBARAKI INTERNATIONAL FISHING FESTIVAL in Hitachinaka-Oarai Resort」に於いてシャークダディズルームでウェルカムパーティーを開催した(8月18日)。1月からは最大利用人数の増加や新オプションとして「出会いの海の大水槽の照明演出」を追加、学校利用に保育園と幼稚園を追加し利用の幅を広げ、茨城ウエディング協議会会員企業へ情報拡散、県内の婚活イベントを開催しているウエディング事業者や栃木県のブライダル産業へのPRに努めた。年度内利用は74件あった。

・リニューアルのPR活動

県内の公共施設及び県内外観光施設、宿泊施設、内覧会参加観光業者へリーフレット・チラシ配布。

・県内外の観光業者等へダイレクトメールの発送および訪問営業のほか、県内、千葉、埼玉、福島、東京方面の旅行会社に営業活動を行った。

・学割(2/1~3/31)利用誘致活動

県生活文化課の協力のもと市町村の電子掲示板にて情報の拡散を行い、期間中2,210人の利用があった(目標:1,187人)。

・ナイトアクアワールド利用誘致活動

婚活イベントとナイトアクアワールドをコラボした特別企画を県内自治体へ提案した。

・地元ホテルとの連携

宿泊プランで当館を利用する大洗町周辺ホテル5社に、水族館で提案したアソビューを活用したBtoBシステムに加入してもらい、利用者のサービス向上を図った。

・県内外の学校への情報発信。

(単位：件数)

区 分	小学校	中学校	高 校	合 計
茨城県	448	213	123	784
栃木県	332	151	71	554
埼玉県	511	0	130	641
千葉県	482	0	127	609
群馬県	249	0	69	318
福島県	179	94	85	358
合 計	2,201	458	605	3,264

(イ) 地元との関係強化

- ・大洗町ふるさと納税返礼品として、年間パスポートや売店商品30品、体験型バックヤード見学等を盛り込んだ商品を造成した。7月からは、茨城県のふるさと納税返礼品として掲載サイト「さとふる」よりユニークベニュー貸切など商品3品を提供した。年度内利用は244件652,547円となった。
- ・年間パスポート販売促進の一環として、大洗町内4店舗（ココス、大洗まいわい市場、シーフードレストランメヒコ、めんたいパーク）による特典事業を継続し、年間パスポートの魅力をアピールした。年度内に2,770件の利用があり好評を得た。
- ・大洗町成人式の開催（令和6年1月7日）
大洗町の成人式を開催し、貸し切りにて特別イルカ・アシカオーシャンライブを行ったほか、IWASHI LIFEを特別バージョンで実施した（参加者128名）。

(ウ) 茨城 DC の PR

- ・水戸4ホテルと合同で茨城DC特別プランとしてエイタッチング付きバックヤードツアー見学やアシカと握手等をアソビューで販売した。法人向け貸切りパーティー利用プランとしては、シャークダイズルームを追加し、JTBへ素材提供して商品造成をした。

(エ) インバウンド誘致

- ・茨城県国際観光課主催のタイ旅行会社との交流会に参加して水族館をPRし、フォローメールを送信したほか、タイのファムトリップやインフルエンサーのバックヤードツアーに対応した。また、台湾をインバウンド重点国とした「台湾いばらき宣伝大使」を務める渡辺直美さんの参加による交流イベントを水族館で開催し、利用誘致に努めた。

(オ) オンライン会議

- ・横浜八景島シーパラダイスの営業担当との情報共有やアドバイス（1回/月）を受けた。

(カ) 内覧会の開催

- ・12月から新しくなった「NIGHT AQUAWORLD」を周知するため、メディア関係者や県・大洗町関係者を招待し、内覧会を開催した。

イベント名	開催日時	開催場所	参加者
NIGHT AQUAWORLD	12月1日(金) 17:30	館内	73名

ウ 来館者調査の実施

- ・毎月第4日曜日等に車輛ナンバー調査を実施したほか、今年度は外部委託によるマーケティング調査として四半期に1回、来館者に対しての聞き取り型のアンケート調査を実施した。
- ・新型コロナの影響により大移動は控え、比較的近場でより安心・安全な郊外（地方）を選ぶ傾向にあったが、2018年のコロナ前の水準以上に回復した。また、マーケティング調査では、来館目的とともに利用後の満足度を調査し、総合満足度としては80.5%が満足と回答した。

(5) 事業推進活動・オペレーション

ア 催事等

年間を通し、ひたち海浜公園及びいばらきフラワーパークと協力し、季節を彩る花で装飾した水槽と花の色等をイメージした魚たちとのコラボ展示「ブルーミングアクアワールド」を年6回開催し、話題を提供した。

夏季は「サマーアクアワールド2023」(7/15～8/27)、秋季は「AUTUMN AQUAWORLD2023」(9/16～10/31)、クリスマスには「クリスマスアクアワールド2023」(11/18～12/25)、年末年始は「新春アクアワールド2024」(12/27～1/21)と季節に合わせ、オーシャンライブや水槽展示、館内装飾に変化を持たせ、季節感が満喫できるイベントを実施し誘客に努めた。

また、大型IPコラボイベントとして「すみっコぐらし水族館×アクアワールド・大洗」(7/15～10/31)を開催し、企画展示室での特別展示、キーワードラリー、キャラクター撮影会など多種多様に展開した。

当館の目玉生物であるサメに焦点を当てたイベント「鮫・鱻・鰐～SHARK! SHARK! SHARK!～」(11/3～11/13)を開催し、サメ好きとして有名なタレント、ココリコ田中直樹さんを1日館長としてお招きし、サメ飼育職員とのトークショーなどのイベントを行ったほか、サメのキャラクター「れおなると」とコラボしたイベント、「れおなると×アクアワールド・大洗」(11/3～3/31)を開催し、サメに関するクイズラリーや特設水槽を展示し、話題提供と共に当館の「サメブランド」の強化を図った。

一方、当館を特徴づけるマンボウの展示については2/9のフグの日にちなんで、「まんぷくアクアワールド」(2/3～3/3)を実施し、マンボウの水中給餌、フグ類の特別展示等で話題の提供に努めた。

「アクアワールド・大洗×茨城ロボッツ」(2/10～3/24)では、プロバスケットボールチーム「茨城ロボッツ」の大庭圭太郎選手プロデュースによる水槽展示や1日館長(2/25)などのイベントを実施し、異業種とのコラボにより新たな水族館の利用者の獲得を目指した。

夜間営業は11月を除く土曜日に毎週開催し、12月に行ったナイトアクアワールドのリニューアルでは、昼夜の差を重視した館内の演出、新オーシャンナイトライブ「MEETS the BEATS」を提供した。特に2月は、バレンタインナイトをはじめ、入場者増が図れた。

(日中営業)

実施日	催事名	入場者数
4月15日(土)～5月7日(日)	ブルーミングアクアワールド ネモフィラ	230,370人
5月20日(土)～6月25日(日)	ブルーミングアクアワールド 春バラ	
7月12日(水)～8月20日(日)	ブルーミングアクアワールド ひまわり	
9月20日(土)～10月22日(日)	ブルーミングアクアワールド コキア	
10月28日(土)～11月30日(木)	ブルーミングアクアワールド 秋バラ	
2月10日(土)～3月24日(日)	ブルーミングアクアワールド 桜	
7月15日(土)～8月27日(日)	サマーアクアワールド 2023	495,570人
7月15日(土)～10月31日(火)	すみっコぐらし水族館×アクアワールド・大洗	
9月16日(土)～10月31日(火)	AUTUMN AQUAWORLD 2023	
11月3日(金・祝)～11月13日(月)	鯨・鱈・鰐 ～ SHARK! SHARK! SHARK!～	38,383人
11月3日(金・祝)～3月31日(日)	れおなると×アクアワールド・大洗	50,920人
11月18日(土)～12月25日(月)	クリスマスアクアワールド 2023	70,865人
12月27日(水)～1月21日(日)	新春アクアワールド 2024	74,112人
2月3日(土)～3月3日(土)	まんぶくアクアワールド	86,285人
2月10日(土)～3月24日(日)	アクアワールド・大洗×茨城ロボッツ	129,407人
計	10事業	1,175,912人

※ブルーミングアクアワールド、れおなると×アクアワールド・大洗の入場者数は他のイベントとの重複期間を除く

(夜間営業)

実施日	催事名	入場者数		
4月1日(土) 8日(土) 15日(土) 22日(土) 29日(土)	NIGHT AQUAWORLD	11,872人		
5月13日(土) 20日(土) 27日(土)				
6月3日(土) 10日(土)				
7月1日(土) 15日(土) 22日(土) 29日(土)				
8月5日(土) 19日(土) 26日(土)				
9月2日(土) 9日(土) 16日(土) 23日(土) 30日(土)				
10月7日(土) 14日(土) 21日(土) 28日(土)				
11月4日(土) 11日(土) 18日(土) 25日(土)				
12月2日(土) 9日(土) 16日(土) 23日(土) 30日(土)				
1月6日(土) 13日(土) 20日(土) 27日(土)				
2月3日(土) 17日(土) 24日(土)				
3月2日(土) 9日(土) 16日(土) 23日(土) 30日(土)				
6月17日(土) 24日(土)			NIGHT AQUAWORLD バースデーSP	518人
7月8日(土)			NIGHT AQUAWORLD with ねばー君	266人
2月10日(土)	バレンタインナイト	550人		
計	4事業	13,206人		

イ オペレーション等

(ア) Web 販売

ゴールデンウィークについては昨年同様、アソビュー株式会社の日時指定型の Web チケットでチケット販売数に上限を設けることにより、入場者数のコントロールに努めた。令和5年5月8日に新型コロナが5類感染症に移行したことを受け、以降の繁忙日について

ては上限設定を廃止し、Web チケットによる入場を推奨することでオペレーションの省力化を推進した。また、セブンチケットについても取り扱いを開始し、利便性向上とコンビニ店頭などでの露出増を図った。

(入場者数管理を目的とした Web チケットの販売)

区 分	内 容
ゴールデンウィーク 5月3日(水祝)～5月7日(日)	日時指定 Web チケットのみ販売・入場 (年パス再入場、減免割引は OK、各種割引は停止)

(誘客を目的とした特別 Web チケットの販売)

名称	販売期間
各種ナイト営業	毎週土曜日(入場券、BY 付入場券等)
ホテル発券	入場券(通年) 茨城 DC4 ホテル合同特別プラン(10月1日(日)～12月31日(日)) アクアワールド学割(2月1日(木)～3月31日(日))
来たれサメマニア! ココリコ・田中直樹館長とアクアワールド サメ担当飼育員が語るサメトーク!	11月11日(土)
【開運茨城】渡辺直美トークショー&ファンミーティング	2月24日(土)

(6) 管理運営部門

ア 管理運営

入場者の安全確保を図るため、有事の際に迅速な避難誘導を行えるよう通常実施している消防訓練のほか、地震による津波を想定した防災訓練を実施し、職員の危機管理対応力の向上に努めた。また、原発事故の風評被害払拭のため、放射線量測定の結果を当館ホームページに公表し安全性を周知したほか、構内道路の安全対策として制限速度標示看板を設置したことに加え、館内2か所に設置されている自動体外式除細動器(AED)の点検を毎日実施し、安心・安全の確保に努めた。

さらに、サイクリングの街を目指す茨城県と協力し、スタンドが無い競技用自転車等が、安全かつ快適に駐輪できるよう、バス停脇にサイクルラックを新たに設置した。

イ テナント関連事業

マーケットプレイス連絡会議の事業では、休館日を利用して実施していた先進施設視察研修を再開し、横浜八景島シーパラダイスで、様々な形態のショップの視察等を実施した。また接遇研修は、前年度に学んだ顧客経験価値(以下「CX」という。)を振り返ると共に、実務に活かすためのグループワーク等を行い、接遇マナーの向上を目指した研修を実施した。

食の安全に関する研修は、茨城県生活衛生課食の安全対策室の講師の方からの動画により、水族館職員と同様に視聴し安全対策等を学んだ。

ウ 施設整備

中長期修繕計画を基本に、屋上防水改修工事、発電機点検・修理及び高圧接触器更新工事等、各種施設整備を計画的に実施するとともに、強風や高潮等の影響による修繕や経年劣化等の不具合による突発的な修繕に対応するなど、施設の安全・維持管理に努めたほか、衛生環境の向上のためマーメイド厨房の洗面台に自動水栓を取り付けるなど、延べ209件(昨年181

件)の工事を実施し、より安心・安全な環境を整備した。

また、省エネルギーについては、省エネルギー委員会を毎月開催し、職員の省エネ意識の向上を図るとともに、省エネ対策として、上水や海水使用量、温度設定の見直しを進めたことに加え、継続してセンサー付き照明器具の設置及び中央監視室で取水ポンプの発停操作ができるよう改修し省エネに努めたが、夏の平均気温の大幅な上昇が影響し、エネルギー使用量が前年比1%削減には及ばなかったものの、省エネ法で定めるエネルギー使用量5年平均1%以上の削減目標は達成した。

4 収益事業2（水族館売店事業）

地域に貢献する観光拠点施設としての役割を踏まえ、マーケットプレイスの物販部門及び水族館内のコレクターズショップ、リラックスカフェの運営を行った。

(1) 物販部門

スーパーショップ「モラモラ」においては、館内イベントに関連したオリジナル商品の展開を推し進め、新商品の開発・販売促進に努めた。また、当館のIPコラボイベントに合わせたオリジナル商品の開発を行い販売に注力した。当館では初となる鯨オスのぬいぐるみをシロワニで製作販売をしたほか、当館シロワニの抜歯を、廃棄プラスチックケースを再利用して商品化を行い、数量限定ではあるが販売し完売した。

その他では、「すみっこぐらし」水族館限定2023商品の取り扱い、また当館限定の「えびふらいのしっぽ」シリーズ第4弾として、えびふらいのしっぽカワウソの「てのりぬいぐるみ」と「あつめてぬいぐるみ」を新たに販売、シリーズ第1弾～第3弾も追加継続再販し、ツイッター等SNSでも全シリーズ大きな反響を呼んでいる。

コレクターズショップ「ガレオス」では、エアークジ（景品：ぬいぐるみ）を導入し物販売上アップに貢献する大きな要因となった。サンゴトラザメの卵殻標本は、数量限定で夏休みに販売し完売した。

また、3月にくらげ365リニューアルに伴い、当館オリジナルクラゲ商品を販売し、好評を得ている。

(2) 飲食部門

リラックスカフェ「マーメイド」においては、イベントとタイアップした商品開発を行い、全メニューを「イベントメニュー」として一体的に盛り上げたほか、レジの回転効率を上げるための商品種類数の見直しを図った。さらに、イベントメニューについてのアンケート調査を実施し、結果を踏まえたお客様満足度の向上と今後の商品開発に活かしている。

季節メニューでは、季節関連商品の開発販売を行ったほか、イベント等で余った食材を活用した商品を開発、販売しフードロスの削減にも努めた。

その他、ナイトライブのテーマ変更や、売れ足が鈍い商品等考慮し、ナイト限定メニューの見直しを図った。

(売上実績)

(単位：円)

物販部門		飲食部門	
区 分	売上額	区 分	売上額
モラモラ・ガレオス	915,159,042	マーメイドギャラリー	118,455,109
(R5 計画比)	(258,311,020)	(R5 計画比)	(14,260,772)
(R4 実績比)	(153,950,717)	(R4 実績比)	(17,846,109)
自動販売機	14,731,670	-	-
(R5 計画比)	(5,041,774)		
(R4 実績比)	(3,063,472)		

計 (R5 計画比) (R4 実績比)	929,890,712 (263,352,794) (157,014,189)	計 (R5 計画比) (R4 実績比)	118,455,109 (14,260,772) (17,846,109)
水族館売店事業合計 (R5 計画比) (R4 実績比)		1,048,345,821 (277,613,566) (174,860,298)	

(利用率)

物販部門		飲食部門	
総入場者数(A) (R4 実績)	1,208,906 人 (1,200,700 人)	総入場者数(A) (R4 実績)	1,208,906 人 (1,200,700 人)
利用件数(B) (R4 実績)	295,160 件 (297,266 件)	利用件数(B) (R4 実績)	86,426 件 (78,154 件)
利用率(B)/(A) (R4 実績)	24.4% (24.8%)	利用率(B)/(A) (R4 実績)	7.1% (6.5%)

※利用件数は、レシート発行数による利用。

5 法人運営事業

茨城県立県民文化センター及びアクアワールド茨城県大洗水族館をはじめ、財団業務の適切な運営を図るため、理事会及び評議員会をはじめ、諸会議の開催、財務及び組織の適切な管理を行ったほか、オンライン研修及び特別研修としての公益法人研修など各種研修の実施により、人材育成・内部統制の強化にも努めた。

また、令和6年度から5ヶ年間の財団運営の指針となる第6期中期経営計画の策定を行い、今後の文化振興事業及び水族館事業、法人の達成すべき目標を設定した。

(1) 理事会・評議員会等開催実績

項目	開催日	議案
監事監査	5月11日(木)	令和4年度事業報告及び決算
令和5年度第1回理事会 (出席人数 8/12)	5月16日(火)	第1号議案：令和4年度事業報告及び決算について 第2号議案：令和5年度定時評議員会の招集について
令和5年度定時評議員会 (出席人数 9/12)	6月1日(木)	第1号議案：評議員1名選任の件 第2号議案：理事1名選任の件 第3号議案：令和4年度決算について
令和5年度第2回理事会 (決議の省略による理事会)	6月1日(木)	議案：理事長、専務理事選定の件
令和5年度第3回理事会 (決議の省略による理事会)	9月1日(金)	提案事項1：臨時評議員会決議の省略の件 提案事項2：評議員1名選任の件
令和5年度臨時評議員会 (決議の省略による評議員会)	9月15日(金)	提案事項：評議員1名選任の件
監事監査	12月13日(水)	令和5年度上半期事業報告及び決算
令和5年度第4回理事会 (出席人数 10/12)	12月22日(金)	第1号議案：定年延長制度に係る関係規程の一部改正の件 第2号議案：県民文化センター指定管理事業終了に伴う事業変更の件 第3号議案：特定費用準備資金保有の件

令和5年度第5回理事会 (出席人数 9/12)	3月13日(水)	第1号議案：第6期中期経営計画承認の件 第2号議案：令和6年度事業計画及び収支予算承認の件 第3号議案：諸規程の一部改正の件 第4号議案：令和6年度役員賠償責任保険継続加入の件 第5号議案：令和5年度臨時評議員会招集の件
令和5年度臨時評議員会 (出席人数 9/12)	3月22日(金)	第1号議案：役員及び評議員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正の件 第2号議案：理事1名選任の件
令和5年度第6回理事会 (決議の省略による理事会)	3月29日(金)	提案事項1：専務理事選定の件 提案事項2：重要な使用人の選任の件

(2) 財団主催研修

研修名	実施日	内容
オンライン研修	6月～3月	職員の専門性、自立性向上等カリキュラム
職場活性化研修	8月21日(月)	文化施設運営におけるブランド力向上
公益法人研修	11月14日(火)、15日(水)、28日(火)、12月22日(金)	公益法人制度概要、最近の動向他
人材育成・組織マネジメント研修	1月26日(金)	管理職の役割、マネジメントに活かす傾聴力他

(3) 能登半島地震災害義援金

茨城県立県民文化センター及びアクアワールド茨城県大洗水族館に募金箱を令和6年2月から3月の期間に設置し、施設利用者等に能登半島地震災害義援金を募った。

事業所	募金額
茨城県立県民文化センター	89,239円
アクアワールド茨城県大洗水族館	30,427円
合計	119,666円

(4) 県電気料支援

県から電気料の高騰に伴い、県民文化センターに対し支援がなされた。

(県支援額：2,543千円)

Ⅱ 決算報告書

○ 正味財産増減計算書	25 ~ 26
○ 正味財産増減計算書内訳表	27 ~ 28
○ 貸借対照表	29 ~ 30
○ 計算書類に対する注記	31 ~ 34
○ 附属明細書	35
○ 財産目録	36 ~ 37

令和5年度 公益財団法人いばらき文化振興財団正味財産増減計算書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産等運用益	312,900	312,900	0
基本財産等受取利息	312,900	312,900	0
② 特定資産運用益	2,543,941	2,235,747	308,194
退職給付引当資産運用益	619,188	306,139	313,049
積立資産運用益	1,924,753	1,929,608	△ 4,855
③ 事業収益	3,280,472,761	2,868,335,877	412,136,884
自主公演入場料収益	27,716,925	29,789,800	△ 2,072,875
手数料収益	12,061,987	9,777,567	2,284,420
負担金収益	2,543,412	9,013,257	△ 6,469,845
受託公演委託金収益	28,296,527	27,368,783	927,744
県民文化センター指定管理収益	193,372,169	193,361,686	10,483
県民文化センター利用料収益	90,021,598	93,219,965	△ 3,198,367
自然博物館水系展示水槽 管理委託金収益	17,373,302	15,721,996	1,651,306
水族館入場料収益	1,833,209,110	1,589,295,990	243,913,120
売店収益	1,049,705,391	877,202,013	172,503,378
駐車場利用料収益	26,172,340	23,584,820	2,587,520
④ 受取補助金等	67,581,841	183,129,434	△ 115,547,593
受取県補助金	2,000,000	0	
受取財団運営費補助金	49,669,442	47,747,265	1,922,177
県有施設支援金収益	0	107,916,000	△ 107,916,000
受取助成金	15,912,399	27,466,169	△ 11,553,770
⑤ 雑収益	84,472,046	55,169,267	29,302,779
雑収益	84,472,046	55,169,267	29,302,779
⑥ 指定正味財産からの振替額	0	0	0
経常収益計(A)	3,435,383,489	3,109,183,225	326,200,264
(2) 経常費用			
① 事業費	2,861,646,596	2,656,032,640	205,613,956
文化活動団体等助成金	18,995,000	14,167,000	4,828,000
役員報酬	12,106,374	11,947,449	158,925
給料手当	557,467,951	546,649,858	10,818,093
臨時雇賃金	7,278,453	4,741,989	2,536,464
福利厚生費	6,799,988	6,910,433	△ 110,445
法定福利費	89,343,543	85,737,173	3,606,370
福利厚生費	0	0	0
報償費	10,206,147	8,358,000	1,848,147
旅費交通費	2,845,456	3,445,303	△ 599,847
接待交際費	20,000	20,000	0
消耗品費	91,320,476	50,096,661	41,223,815
燃料費	65,891,356	69,205,366	△ 3,314,010
会議費	505,837	388,618	117,219
印刷製本費	10,884,356	12,513,519	△ 1,629,163
光熱水料費	253,921,220	269,773,603	△ 15,852,383
修繕費	63,361,721	58,795,153	4,566,568
飼料費	30,501,502	28,898,406	1,603,096
医薬材料費	2,623,889	1,409,491	1,214,398
賄材料費	47,767,107	39,856,078	7,911,029
通信運搬費	4,427,017	4,476,785	△ 49,768
広告宣伝費	14,750,450	11,968,081	2,782,369
支払手数料	112,664,033	78,730,491	33,933,542
保険料	1,737,315	1,576,940	160,375
委託費	604,082,123	609,491,701	△ 5,409,578
賃借料	36,448,330	32,993,589	3,454,741

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
工事請負費	68,968,389	48,921,511	20,046,878
原材料費	566,026,241	472,585,235	93,441,006
生物購入費	5,357,496	7,357,424	△ 1,999,928
支払負担金	4,338,458	4,009,293	329,165
租税公課	130,170,105	110,792,023	19,378,082
退職給付費用	26,039,604	45,536,222	△ 19,496,618
雑 費	0	10,369	△ 10,369
修繕工事負担金	0	0	0
県納付金	0	0	0
減価償却費	14,796,659	14,668,876	127,783
② 管理費	14,682,519	14,605,048	77,471
役員報酬	1,498,475	1,369,638	128,837
給料手当	3,953,251	3,313,607	639,644
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	58,269	64,110	△ 5,841
法定福利費	785,597	672,374	113,223
報償費	0	0	0
旅費交通費	176,704	690,537	△ 513,833
接待交際費	0	0	0
消耗品費	672,955	519,817	153,138
燃料費	34,183	29,673	4,510
会議費	7,236	16,940	△ 9,704
印刷製本費	467,659	392,226	75,433
光熱水料費	209,618	144,791	64,827
修繕費	102,878	214,066	△ 111,188
医薬材料費	0	0	0
通信運搬費	384,921	364,522	20,399
広告宣伝費	0	151,800	△ 151,800
支払手数料	480,645	562,947	△ 82,302
保険料	206,920	193,560	13,360
委託費	1,365,923	289,896	1,076,027
賃借料	1,023,512	1,014,045	9,467
支払負担金	1,099,013	930,229	168,784
租税公課	63,795	45,677	18,118
退職給付費用	2,050,584	3,585,917	△ 1,535,333
雑費	0	0	0
減価償却費	40,381	38,676	1,705
経常費用計(B)	2,876,329,115	2,670,637,688	205,691,427
当期経常増減額(A)-(B)	559,054,374	438,545,537	120,508,837
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計(C)	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除去損			
固定資産売却・除却損	341,908	346,085	△ 4,177
経常外費用計(D)	341,908	346,085	△ 4,177
当期経常外増減額(C)-(D)	△ 341,908	△ 346,085	4,177
当期一般正味財産増減額	558,712,466	438,199,452	120,513,014
一般正味財産期首残高	1,659,074,846	1,220,875,394	438,199,452
一般正味財産期末残高	2,217,787,312	1,659,074,846	558,712,466
II 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	565,000,000	565,000,000	0
指定正味財産期末残高	565,000,000	565,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,782,787,312	2,224,074,846	558,712,466

令和5年度 公益財団法人いばらき文化振興財団正味財産増減計算書内訳表
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 文化自主事業 I	収2 水族館売店事業	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産等運用益	312,900	0	312,900	0	0	0	0	312,900
② 特定資産運用益	2,054,044	348,998	2,403,042	18,949	76,749	95,698	45,201	2,543,941
③ 事業収益	342,661,004	1,850,582,412	2,193,243,416	38,883,524	1,048,345,821	1,087,229,345	0	3,280,472,761
自主公演入場料収益	27,716,925	0	27,716,925	0	0	0	0	27,716,925
手数料収益	9,982,598	0	9,982,598	2,079,389	0	2,079,389	0	12,061,987
負担金収益	2,543,412	0	2,543,412	0	0	0	0	2,543,412
受託公演委託金収益	28,296,527	0	28,296,527	0	0	0	0	28,296,527
県民文化センター指定管理収益	193,372,169	0	193,372,169	0	0	0	0	193,372,169
県民文化センター利用料収益	80,749,373	0	80,749,373	9,272,225	0	9,272,225	0	90,021,598
自然博物館水系展示水槽管理委託金収益	0	17,373,302	17,373,302	0	0	0	0	17,373,302
水族館入場料収益	0	1,833,209,110	1,833,209,110	0	0	0	0	1,833,209,110
売店収益	0	0	0	1,359,570	1,048,345,821	1,049,705,391	0	1,049,705,391
駐車場利用料収益	0	0	0	26,172,340	0	26,172,340	0	26,172,340
④ 受取補助金等	27,846,354	25,255,402	53,101,756	0	0	0	14,480,085	67,581,841
受取県補助金	2,000,000	0	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000
受取財団運営費補助金	9,933,955	25,255,402	35,189,357	0	0	0	14,480,085	49,669,442
受取助成金	15,912,399	0	15,912,399	0	0	0	0	15,912,399
⑤ 雑収益	1,547,925	67,352,165	68,900,090	227	15,414,496	15,414,723	157,233	84,472,046
雑収益	1,547,925	67,352,165	68,900,090	227	15,414,496	15,414,723	157,233	84,472,046
⑥ 指定正味財産からの振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計(A)	374,422,227	1,943,538,977	2,317,961,204	38,902,700	1,063,837,066	1,102,739,766	14,682,519	3,435,383,489
(2) 経常費用								
① 事業費	393,814,462	1,483,048,959	1,876,863,421	22,540,759	962,242,416	984,783,175		2,861,646,596
文化活動団体等助成金	18,995,000	0	18,995,000	0	0	0		18,995,000
役員報酬	3,044,279	7,880,571	10,924,850	0	1,181,524	1,181,524		12,106,374
給与手当	119,150,466	345,312,907	464,463,373	7,095,702	85,908,876	93,004,578		557,467,951
臨時雇賃金	242,043	2,770,619	3,012,662	0	4,265,791	4,265,791		7,278,453
福利厚生費	1,388,727	4,555,734	5,944,461	94,128	761,399	855,527		6,799,988
法定福利費	19,542,875	55,688,730	75,231,605	1,177,396	12,934,542	14,111,938		89,343,543
報償費	10,206,147	0	10,206,147	0	0	0		10,206,147
旅費交通費	662,502	1,993,768	2,656,270	0	189,186	189,186		2,845,456
接待交際費	0	20,000	20,000	0	0	0		20,000
消耗品費	6,215,936	61,370,995	67,586,931	277,035	23,456,510	23,733,545		91,320,476
燃料費	4,301,989	53,428,476	57,730,465	0	8,160,891	8,160,891		65,891,356
会議費	454,907	41,508	496,415	0	9,422	9,422		505,837
印刷製本費	3,446,169	6,062,122	9,508,291	0	1,376,065	1,376,065		10,884,356
光熱水料費	31,528,013	192,492,302	224,020,315	525,639	29,375,266	29,900,905		253,921,220
修繕費	15,316,169	44,276,960	59,593,129	0	3,768,592	3,768,592		63,361,721
飼料費	0	30,501,502	30,501,502	0	0	0		30,501,502
医薬材料費	0	2,276,486	2,276,486	0	347,403	347,403		2,623,889
賄材料費	0	0	0	0	47,767,107	47,767,107		47,767,107
通信運搬費	1,707,937	2,099,556	3,807,493	0	619,524	619,524		4,427,017
広告宣伝費	3,868,700	10,881,750	14,750,450	0	0	0		14,750,450
支払手数料	6,242,122	58,492,191	64,734,313	115,318	47,814,402	47,929,720		112,664,033
保険料	450,850	697,425	1,148,275	317,490	271,550	589,040		1,737,315
委託費	114,285,075	410,166,918	524,451,993	9,352,727	70,277,403	79,630,130		604,082,123
賃借料	11,873,581	19,836,183	31,709,764	108,564	4,630,002	4,738,566		36,448,330
工事請負費	0	65,737,927	65,737,927	0	3,230,462	3,230,462		68,968,389
原材料費	0	0	0	831,899	565,194,342	566,026,241		566,026,241
生物購入費	0	5,357,496	5,357,496	0	0	0		5,357,496
支払負担金	486,045	2,567,093	3,053,138	16,606	1,268,714	1,285,320		4,338,458
租税公課	13,345,333	73,609,119	86,954,452	1,749,840	41,465,813	43,215,653		130,170,105
退職給付費用	6,516,924	15,252,972	21,769,896	814,615	3,455,093	4,269,708		26,039,604
雑費	0	0	0	0	0	0		0
修繕工事負担金	0	0	0	0	0	0		0
果納付金	0	0	0	0	0	0		0
減価償却費	542,673	9,677,649	10,220,322	63,800	4,512,537	4,576,337		14,796,659

(単位:円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 文化自主事業 I	収2 水族館売店事業	小計		
② 管理費							14,682,519	14,682,519
役員報酬							1,498,475	1,498,475
給料手当							3,953,251	3,953,251
臨時雇賃金							0	0
福利厚生費							58,269	58,269
法定福利費							785,597	785,597
報償費							0	0
旅費交通費							176,704	176,704
接待交際費							0	0
消耗品費							672,955	672,955
燃料費							34,183	34,183
会議費							7,236	7,236
印刷製本費							467,659	467,659
光熱水料費							209,618	209,618
修繕費							102,878	102,878
医薬材料費							0	0
通信運搬費							384,921	384,921
広告宣伝費							0	0
支払手数料							480,645	480,645
保険料							206,920	206,920
委託費							1,365,923	1,365,923
賃借料							1,023,512	1,023,512
支払負担金							1,099,013	1,099,013
租税公課							63,795	63,795
退職給付費用							2,050,584	2,050,584
雑費							0	0
減価償却費							40,381	40,381
経常費用計(B)	393,814,462	1,483,048,959	1,876,863,421	22,540,759	962,242,416	984,783,175	14,682,519	2,876,329,115
当期経常増減額(A)-(B)	△ 19,392,235	460,490,018	441,097,783	16,361,941	101,594,650	117,956,591	0	559,054,374
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産除去損	51,784	69,122	120,906	220,999	3	221,002	0	341,908
固定資産除却損	51,784	69,122	120,906	220,999	3	221,002	0	341,908
経常外費用計(D)	51,784	69,122	120,906	220,999	3	221,002	0	341,908
当期経常外増減額(C)-(D)	△ 51,784	△ 69,122	△ 120,906	△ 220,999	△ 3	△ 221,002	0	△ 341,908
他会計振替額(E)	7,433,599	49,018,336	56,451,935	△ 7,433,599	△ 49,018,336	△ 56,451,935	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 12,010,420	509,439,232	497,428,812	8,707,343	52,576,311	61,283,654	0	558,712,466
一般正味財産期首残高	160,221,578	1,032,096,873	1,192,318,451	59,809,596	406,570,855	466,380,451	375,944	1,659,074,846
一般正味財産期末残高	148,211,158	1,541,536,105	1,689,747,263	68,516,939	459,147,166	527,664,105	375,944	2,217,787,312
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0
① 一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	565,000,000	0	565,000,000	0	0	0	0	565,000,000
指定正味財産期末残高	565,000,000	0	565,000,000	0	0	0	0	565,000,000
III 正味財産期末残高	713,211,158	1,541,536,105	2,254,747,263	68,516,939	459,147,166	527,664,105	375,944	2,782,787,312

公益財団法人いばらき文化振興財団貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	60,436,709	43,943,221	16,493,488
預金	598,356,487	819,213,329	△ 220,856,842
普通預金	598,356,487	819,213,329	△ 220,856,842
定期預金	0	0	0
有価証券	0	0	0
前払費用	34,470	218,010	△ 183,540
仮払金	6,733,547	16,071,326	△ 9,337,779
未収金	82,835,555	221,265,839	△ 138,430,284
貯蔵品	32,526,026	29,281,150	3,244,876
流動資産合計	780,922,794	1,129,992,875	△ 349,070,081
2 固定資産			
(1) 基本財産等			
基本財産	30,000,000	30,000,000	0
茨城県債貸付	30,000,000	30,000,000	0
基金財産	0	0	0
有価証券	0	0	0
普通預金	0	0	0
基本財産等合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	517,742,682	551,611,644	△ 33,868,962
助成事業積立資産	535,000,000	535,000,000	0
文化振興事業積立資産	58,343,576	58,341,884	1,692
施設設備修繕等積立資産	216,304,883	216,300,433	4,450
事業資金積立資産	213,427,630	213,423,827	3,803
緊急時対応積立資産	349,821,964	297,815,856	52,006,108
特定費用準備資金	940,000,000	29,856,362	910,143,638
文化活動助成事業資金	0	29,856,362	△ 29,856,362
第二期文化活動助成事業資金	20,000,000	0	20,000,000
水族館大規模修繕等準備資金	920,000,000	0	920,000,000
資産取得資金	0	0	0
減価償却資産取得資金	0	0	0
特定資産合計	2,830,640,735	1,902,350,006	928,290,729
(3) その他固定資産			
建物	0	0	0
建物減価償却累計額	0	0	0
構築物	36,375,097	43,844,858	△ 7,469,761
構築物減価償却累計額	△ 32,088,320	△ 38,581,283	6,492,963
車両運搬具	3,901,354	4,852,024	△ 950,670
車両運搬具減価償却累計額	△ 3,714,903	△ 4,478,000	763,097
什器備品	185,840,238	185,134,402	705,836
什器備品減価償却累計額	△ 157,964,238	△ 158,683,205	718,967
リース資産	40,361,760	40,361,760	0
リース資産減価償却累計額	△ 38,064,960	△ 34,619,760	△ 3,445,200
電話加入権	307,545	307,545	0
投資有価証券	50,000	50,000	0
ソフトウェア	1,628,000	1,628,000	0
ソフトウェア減価償却累計額	△ 462,733	△ 137,133	△ 325,600
その他固定資産合計	36,168,840	39,679,208	△ 3,510,368
固定資産合計	2,896,809,575	1,972,029,214	924,780,361
資産合計	3,677,732,369	3,102,022,089	575,710,280

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	332,379,961	270,183,642	62,196,319
仮受金	42,415,614	36,000,279	6,415,335
前受金	110,000	14,409,678	△ 14,299,678
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	374,905,575	320,593,599	54,311,976
2 固定負債			
長期借入金	0	0	0
退職給付引当金	517,742,682	551,611,644	△ 33,868,962
リース債務	2,296,800	5,742,000	△ 3,445,200
仮受金	0	0	0
固定負債合計	520,039,482	557,353,644	△ 37,314,162
負債合計	894,945,057	877,947,243	16,997,814
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	565,000,000	565,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(535,000,000)	(535,000,000)	(0)
2 一般正味財産	2,217,787,312	1,659,074,846	558,712,466
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,777,898,053)	(815,738,362)	(962,159,691)
正味財産合計	2,782,787,312	2,224,074,846	558,712,466
負債及び正味財産合計	3,677,732,369	3,102,022,089	575,710,280

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

有価証券は取得額をもって計上しているが、取得額が債券金額より低い価額又は高い価額の場合には、償却原価法（定額法）にて処理している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、先入先出法による原価基準を採用している。

(3) 固定資産の減価償却について

① 固定資産の減価償却は、定率法によっている。

（会計方針の変更）

法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律平成19年3月30日法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令平成19年3月30日政令第83号））に伴い、平成19年4月1日以降に取得したものについては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しているが、これに伴う影響は軽微である。

（追加情報）

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、その残存簿価を償却可能限度額に達した事業年度の翌事業年度以後5年間で備忘価額まで均等償却を行う方法によっているが、これに伴う影響は軽微である。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 退職給付引当金の計上基準について

勸奨及び自己都合による退職金要支給額を計上する。（100%計上済み。）

(5) リース取引の会計処理について

① 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

車両運搬具、什器備品

② リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

（ア） リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	リース資産
取得価額相当額	40,361,760
減価償却累計額相当額	38,064,960
期末残高相当額	2,296,800

（イ） 未経過リース料期末残高相当額

取得価額相当額	2,296,800
---------	-----------

（ウ） 当期の支払リース料、減価償却費相当額

支払リース料	3,445,200
減価償却費相当額	3,445,200

（エ） 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(1) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
茨城県債貸付(金銭消費貸借契約)	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	551,611,644	28,090,188	61,959,150	517,742,682
助成事業積立資産	535,000,000	0	0	535,000,000
文化振興事業積立資産	58,341,884	1,692	0	58,343,576
施設設備修繕等積立資産	216,300,433	4,450	0	216,304,883
事業資金積立資産	213,423,827	3,803	0	213,427,630
緊急時対応積立資産	297,815,856	52,006,108	0	349,821,964
文化活動助成事業資金	29,856,362	0	29,856,362	0
第二期文化活動助成事業資金	0	20,000,000	0	20,000,000
水族館大規模修繕等準備資金	0	920,000,000	0	920,000,000
小 計	1,902,350,006	1,020,106,241	91,815,512	2,830,640,735
合 計	1,932,350,006	1,020,106,241	91,815,512	2,860,640,735

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
茨城県債貸付(金銭消費貸借契約)	30,000,000	(30,000,000)	—	—
小 計	30,000,000	(30,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	517,742,682	—	—	(517,742,682)
助成事業積立資産	535,000,000	(535,000,000)	—	—
文化振興事業積立資産	58,343,576	—	(58,343,576)	—
施設設備修繕等積立資産	216,304,883	—	(216,304,883)	—
事業資金積立資産	213,427,630	—	(213,427,630)	—
緊急時対応積立資産	349,821,964	—	(349,821,964)	—
文化活動助成事業資金	0	—	(0)	—
第二期文化活動助成事業資金	20,000,000	—	(20,000,000)	—
水族館大規模修繕等準備資金	920,000,000	—	(920,000,000)	—
小 計	2,830,640,735	(535,000,000)	(1,777,898,053)	(517,742,682)
合 計	2,860,640,735	(565,000,000)	(1,777,898,053)	(517,742,682)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
(建物付属設備)	(0)	(0)	(0)
建物付属設備	0	0	0
(構築物)	(36,375,097)	(32,088,320)	(4,286,777)
構築物	36,375,097	32,088,320	4,286,777
(車両運搬具)	(3,901,354)	(3,714,903)	(186,451)
車両運搬具	3,901,354	3,714,903	186,451
(器具・備品)	(185,840,238)	(157,964,238)	(27,876,000)
器具・備品	185,840,238	157,964,238	27,876,000
(電話加入権)	(307,545)	(0)	(307,545)
電話加入権	307,545	0	307,545
(リース資産)	(40,361,760)	(38,064,960)	(2,296,800)
リース資産	40,361,760	38,064,960	2,296,800
(投資有価証券)	(50,000)	(0)	(50,000)
投資有価証券	50,000	0	50,000
(ソフトウェア)	(1,628,000)	(462,733)	(1,165,267)
ソフトウェア	1,628,000	462,733	1,165,267
合 計	268,463,994	232,295,154	36,168,840

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

単位：円

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益	備 考
(退職給付引当資産)	(200,000,000)	(196,390,000)	(△ 3,610,000)	
共同発行市場公募地方債	100,000,000	97,060,000	△ 2,940,000	大和証券
西日本高速道路債券	100,000,000	99,330,000	△ 670,000	みずほ証券
合 計	200,000,000	196,390,000	△ 3,610,000	

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

単位：円

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
財団運営費補助金	茨城県	0	49,669,442	49,669,442	0	一般正味財産
茨城県新人演奏会補助金	茨城県	0	2,000,000	2,000,000	0	一般正味財産
助成金収益	公益財団法人 常陽藝文センター	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
	㈱茨城ポート オーソリティ	0	450,000	450,000	0	一般正味財産
	水戸信用金庫	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
	全国公立文化施設協会	0	13,012,399	13,012,399	0	一般正味財産
	茨城県信用保証協会	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
	増山会計事務所		50,000	50,000	0	一般正味財産
	(一財)茨城県 環境保全事業団	0	400,000	400,000	0	一般正味財産
	(公財)茨城新聞 文化福祉事業団	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
	げんでんふれあい 茨城財団	0	1,300,000	1,300,000	0	一般正味財産
合 計		0	67,581,841	67,581,841	0	一般正味財産

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

単位：円

内 容	金 額
経常収益への振替額	
文化活動助成事業資金取崩額分一般正味財産への振替額	0
合 計	0

8 引当金の明細

単位：円

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	551,611,644	28,090,188	61,959,150	0	517,742,682

附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
基本財産及び特定資産の明細は、計算書類に対する注記 2、基本財産及び特定資産の増減及びその残高に記載のとおりである。

- 2 引当金の明細
引当金の明細は、計算書類に対する注記 8、引当金の明細に記載のとおりである。

財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)					
現金 預金	手元保管	年度未売上金及び運転資金として	60,436,709		
	普通預金		(598,356,487)		
	常陽銀行県庁支店		260,799,624		
	常陽銀行大洗支店		333,815,699		
	住信SBIネット銀行法人第一支店		937		
	茨城県信用組合千波支店		1,750		
	大和ネクスト銀行		3,738,477		
前払費用	法人運営部門	zoom Pro前払費用等	34,470		
仮払金	文化振興部門ほか 他	会計間の繰入支出戻入分及び保険料 個人負担分 他	6,733,547		
未収金	事業に係る未収額 他	入場料収入、県委託金収入 他	82,835,555		
貯蔵品	カフェ、売店商品	翌年度事業に供する貯蔵品	32,526,026		
流動資産合計			780,922,794		
(固定資産)					
基本財産	基本財産	茨城県債貸付	(30,000,000)		
特定資産	退職給付引当資産	公益目的保有財産として保有し、運用益を 公益目的事業に使用	30,000,000		
		職員に対する退職金の支給に備えるため	(2,830,640,735)		
		普通預金		(517,742,682)	
		常陽銀行県庁支店		0	
		住信SBIネット銀行法人第一支店		0	
		水戸信用金庫本店		157,303	
		定期預金			
		水戸信用金庫本店		172,000,000	
		大和ネクスト銀行		45,575,379	
		住信SBIネット銀行法人第一支店		100,010,000	
		有価証券			
		共同発行市場公募地方債		100,000,000	
		西日本高速道路債		100,000,000	
		助成事業積立資産	茨城県債貸付	公益目的保有財産として保有し、運用益を 文化活動助成事業に使用	(535,000,000)
					535,000,000
文化振興事業積立資産	普通預金	公1の文化振興事業に使用	(58,343,576)		
	常陽銀行県庁支店		8,320,562		
	茨城県信用組合千波支店		9,206		
	三井住友銀行水戸支店		13,808		
	定期預金				
	茨城県信用組合千波支店		20,000,000		
	三井住友銀行水戸支店		30,000,000		
施設設備修繕等積立資産	普通預金	公2及び収1の水族館に係る施設設備の 修繕等に使用	(216,304,883)		
	常陽銀行県庁支店		1,300,763		
	茨城県信用組合千波支店		1,050		
	定期預金				
	常陽銀行県庁支店		200,000,000		
	茨城県信用組合千波支店		15,003,070		
事業資金積立資産	普通預金	公2の水族館に係る展示替え等に使用	(213,427,630)		
	常陽銀行県庁支店		53,410,196		
	茨城県信用組合千波支店	将来の事業運営に活用するための資金	17,434		
	定期預金				
	常陽銀行県庁支店		100,000,000		
	茨城県信用組合千波支店		60,000,000		

その他固定資産	緊急時対応積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 常陽銀行大洗支店 茨城県信用組合千波支店 筑波銀行泉町支店 定期預金 茨城県信用組合千波支店 筑波銀行泉町支店	公2の水族館に係る緊急時の事業継続等に使用 将来の事業運営に係る事業継続等に使用	(349,821,964) 3,263,793 52,000,000 8,005,831 17,630 176,534,710 110,000,000	
	特定費用準備資金 第二期文化活動事業資金	普通預金	文化活動助成事業に使用	[940,000,000] 20,000,000	
	水族館大規模修繕等準備資金	普通預金 常陽銀行大洗支店	県直轄大規模修繕等工事に使用	[920,000,000] 920,000,000	
	構築物			<36,168,840)	
	車両運搬具	大洗町磯浜町8252-3 他 ホールディングプール下倉庫 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	4,286,777	
	什器備品	大洗町磯浜町8252-3 アクセラ、フォークリフト 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	186,451	
	リース資産	水戸市千波町東久保697 他 金庫、勤怠管理システム 他 料金所エアコン 他 セミクジラ骨格標本 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	27,876,000	
	電話加入権	大洗町磯浜町8252-3 他 会場予約管理システム、4tトラック 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	2,296,800	
	投資有価証券	水戸市千波町東久保697	公益目的事業の用に供している	307,545	
	ソフトウェア	茨城県信用組合千波支店	茨城県信用組合への出資	50,000	
				1,165,267	
	固定資産合計				2,896,809,575
	資産合計				3,677,732,369
(流動負債)	未払金	事業に係る未払額 他	文化活動団体への助成金未払い 退職金、電気料 他	332,379,961	
	仮受金	事業に係る仮受額 他	利用料金仮受 他	42,415,614	
	前受金	事業に係る前受額 他	ユニークベニュー	110,000	
流動負債合計				374,905,575	
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支給に備えたもの	517,742,682	
	リース債務	大洗町磯浜町8252-3 他 水族館売店POSシステム 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	2,296,800	
固定負債合計				520,039,482	
負債合計				894,945,057	
正味財産				2,782,787,312	

